

冬野菜の生育状況と年末・年始の価格見通しについて（12月20日現在）
（東京都中央卸売市場に係る主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品 目	現 在 の 生 育 状 況
根 菜 類	生育は順調。出荷数量は平年並になる見込み。
葉 茎 菜 類	生育は概ね順調。出荷数量は概ね平年並になる見込み。ただし、ほうれんそう及びレタスについては出荷数量が減少する見込み。
果 菜 類	曇雨天の影響により出荷数量は平年をやや下回る見込み。
土 物 類	たまねぎについては、生育期における天候不順、台風12号等により収量は低下。ばれいしょ等の出荷数量は概ね平年並になる見込み。

品 目	主 産 県 ※（ ）書きは 昨年12月の 入荷シェア。	現 在 の 生 育 状 況 等	価 格 見 通 し	
			年 末	年 始
だ い こ ん	千 葉 (48%) 神 奈 川 (42%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並</u> になる見込み。 ただし、今後、気温が低下し、おでん等の需要が増加すれば価格が上昇する可能性。	→	→
に ん じ ん	千 葉 (78%) 埼 玉 (7%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並</u> になる見込み。	→	→

はくさい	茨城(97%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並</u> になる見込み。 ただし、今後、気温が低下し、鍋需要が増加すれば価格が上昇する可能性。	→	→
キャベツ	愛知(50%) 千葉(30%)	愛知県においては、台風15号の影響により根張りが悪く小玉傾向となり、 <u>出荷数量は平年をやや下回る</u> 見込みであるが、 <u>価格は概ね平年並</u> の見込み。	→	→
ほうれんそう	群馬(38%) 千葉(21%)	群馬県、千葉県においては、生育が前進して12月中旬までの出荷数量が増加し、下旬からの出荷数量が減少する見込みであることに加え、最近の気温の低下に伴う生育停滞により、年末・年始の <u>出荷数量は平年を下回る</u> 見込みであり、 <u>価格は平年を上回る</u> 見込み。	↗	↗
ねぎ	千葉(23%) 埼玉(17%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並</u> になる見込み。 ただし、今後、気温が低下し、鍋需要等が増加すれば価格が上昇する可能性。	→	→
レタス	静岡(30%) 茨城(22%)	静岡県においては、定植後の断続的な降雨により病害等が発生していることから、 <u>出荷数量は平年を下回る</u> 見込みであり、 <u>価格は平年を上回る</u> 見込み。	↗	↗
きゅうり	宮崎(35%) 千葉(20%)	千葉県においては、曇雨天の影響により出荷数量が減少していたが、その後生育が回復傾向にあり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→

なす	高知(60%) 福岡(20%)	高知県、福岡県においては、曇雨天の影響により、 <u>出荷数量は平年をやや下回る見込み</u> であるが、 <u>価格は概ね平年並の見込み</u> 。	→	→
トマト	熊本(43%) 愛知(20%)	熊本県においては、曇雨天の影響により、 <u>出荷数量は平年を下回る見込み</u> であり、 <u>価格は平年を上回る見込み</u> 。	↗	↗
ピーマン	茨城(36%) 宮崎(22%)	宮崎県においては、曇雨天の影響により、 <u>出荷数量は平年をやや下回る見込み</u> であるが、 <u>価格は概ね平年並の見込み</u> 。	→	→
ばれいしょ	北海道(81%)	台風12号・15号による病害虫の発生で収量がやや低下したものの、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み</u> 。	→	→
さといも	埼玉(52%) 千葉(19%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み</u> 。 ただし、今後、気温が低下し、煮物等の需要が増加すれば価格が上昇する可能性。	→	→
たまねぎ	北海道(78%)	北海道において、北見管内における6月上旬の降雹、上川・空知管内における6月～7月の多雨及び台風12号の影響により、総じて <u>収量は平年の8割程度になる見込み</u> であるが、 <u>減少分を海外から輸入するため価格は平年並になる見込み</u> 。	→	→